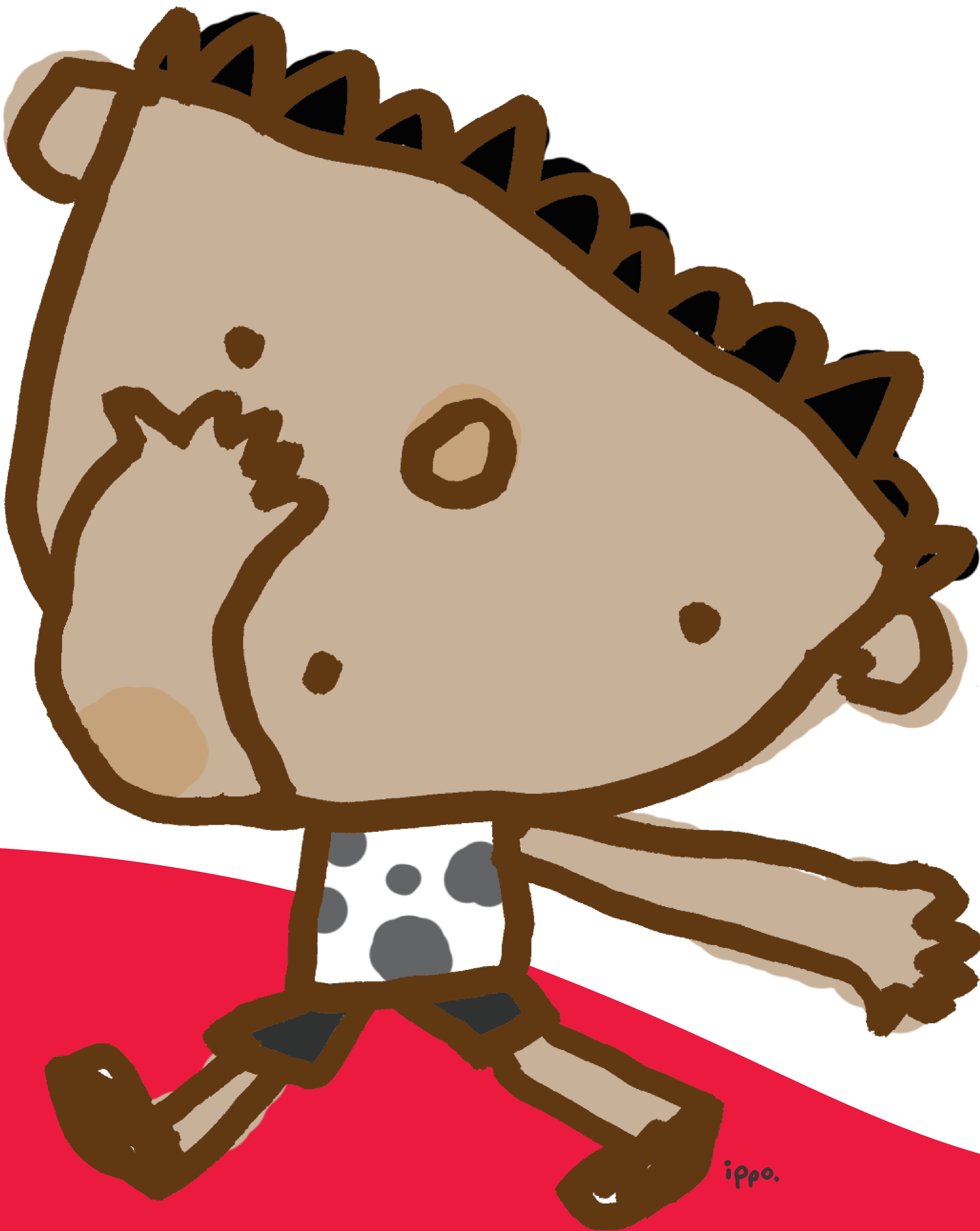


わたしは女の子  
 なんで学ランを着ないとあかんの？



自分の望む制服を選べたらいいのになあ

トランスジェンダーは、多くが小学校入学前、小学校、中学校で性別違和を自覚しており<sup>(\*)</sup>、男女で分けられることの多い学校生活に大変な苦痛を感じています。性別違和は、決して「わがまま」などではなく、人としての尊厳にも関わる深刻な悩みです。それが原因で、学校に行けなくなってしまう人や精神的な病気になってしまう人もいます。すべての子どもたちが、ありのままの姿で学校生活を送ることができるようにするために、周囲の人の理解と配慮が必要です。文部科学省では平成27年に「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応の実施等について」という通知を出しており、そこには「教職員の適切な理解を促進することが必要」と明記されています。<sup>(\*)</sup>いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン 2014 調査

このパネルは、平成28年度 淀川区LGBT支援事業の一環として、大阪市内のLGBT当事者の声を集めて制作したものです。LGBTは、以下の4つの単語の頭文字であり、ここでは性的指向や性自認におけるマイノリティ(少数者)の総称としています。

**L** レズビアン 同性を好きになる女性 **G** ゲイ 同性を好きになる男性 **B** バイセクシュアル 性別にかかわらず、同性を好きになることもあれば異性を好きになることもある人 **T** トランスジェンダー 出生届の性別とは異なる性別のあり方を望む人

LGBTは人口の5~8%程度とされていますが、学校、職場、地域など、自分の周囲にカミングアウトできない人も多く、見えにくいマイノリティです。このパネルは、そうした人たちの声を可視化する目的で制作しました。笑顔の裏にも見えにくい「困りごと」を抱えている人たちが自分の身の周りにもいるかもしれないと、想像しながら見てほしいと思います。

